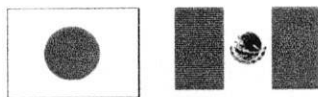


TSIE メキシコ小学校視察レポート

2007.09.03~09.08



TSIE

メキシコの小学校と街並み文化を訪ねて

(TSIE メキシコ小学校下見)

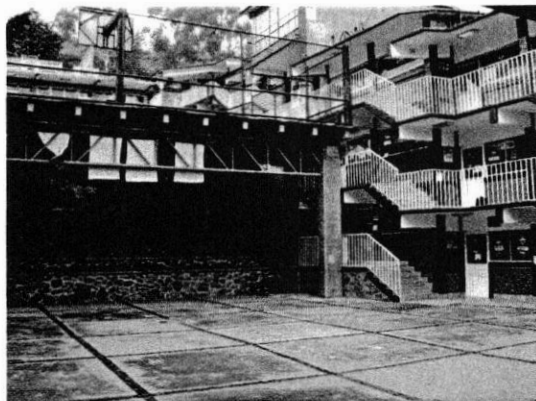
・私のセカンドマザーTAE 小学校アルハンドラ先生に捧げます・

TSIE 会長 福田 泰造

湖上に浮かぶ古都テノチティラン（アステカ時代のメキシコシティの呼名）の美しさが見え隠れする夢幻の世界から覚め、メキシコシティを機上から眺める。アステカ帝国滅亡後メキシコシティは湖を埋め立てて出来た未発掘の遺跡の上に出来た都市であることがそこかしこに残った沼地で理解できる。JL012 便は定刻より 30 分早く 2007 年 9 月 3 日、18:30 に黄昏のベニート・フアレス国際空港に到着した。出迎えに来てくれたトーマス・アルバ・エジソン小学校のカルロス先生と私より二日前に来ていた TSIE 都築副会長の笑顔が夢心地の私を現実の世界に引き戻し、時差ぼけから開放してくれた。

画家のフリーダ・カーロ、ディエゴ・リベラ夫妻、シケイロスそして建築家のルイス・バラガン、リカルド・リゴレッタくらいしか知識がなく、そして時差の関係で 9 月 3 日に日本を出発して 15 時間はゆうに過ぎているのにまだ同じ 9 月 3 日で一日儲かったと喜んでいる俗っぽい自分の姿は、明日からの公式の TSIE メキシコ小学校下見訪問としてメキシコ合衆国に対して少し失礼かもしれない。そんなことを思いつつ宿舎である夕闇に包まれたニッコーホテル・メキシコシティに到着したのは 20 時過ぎでラウンジのドレスアップした紳士淑女がラテン文化を演出してくれた。

9 月 4 日（火）はメキシコシティから西へ 60km くらいに位置するトルーカ市の 3 つの小



小学校を訪問する予定で、午前 8 時に最初の訪問校であるスプリングフィールド小学校の先

生方とホテルのロビーで合流する。湖を埋め立てたツケが回ってきた地盤沈下による凹凸の多いハイウェイを注意深くとばして 1 時間程度でトルーカに到着した。スプリングフィールド小学校は幼稚園から中学校までの一環教育をしている私立の小学校で敷地の高低差を利用した校舎は香港の学校のように最下階にある屋外の多目的広場などレベル差による配置計画はリズムカルで児童の躍動感が伝わって



わりで授業を受け、英語教室に入ったら英語以外は使用禁止、スペイン語教室ではスペイン語以外は使用禁止という徹底振りである。どちらが良いかは別として中学から高校、大学の教養課程と英語教育を受けても英語が話せない日本の教育とは語学に対するコンセプトがまるで違うような気がする。スプリングフィールド小学校のクララ先生は 4 年前の

ISSE メキシコカンファレンスに参加していたのでお互いを思い出しながら懐かしさの気持ち一杯で再会した。

トルーカのショッピングセンター内のレストランで次の訪問校のブエナ・ティエラ小学校のドロレス校長先生と一緒にタコスランチを済ませ小学校に向かう。ブエナ・ティエラ小学校は遙かかなたに標高 4,500m を超えるネパド・デ・トルーカ火山を望む立地で周辺はトゥモロコシ畑などが広がり穏やかな環境に位置す



る。私たちが児童は中庭で出迎え、歓迎セレモニーを受ける。メキシコの小学校は共通して最初に国旗入場から始まる国旗掲揚及び国歌斉唱を行う。国家や国旗そのものをあまり教育においては意識させない日本とは大いに異なると思う。これはメキシコに限らず、アメリカ、オーストラリア、マレーシア、タイなども多かれ少なかれ同じだと思う。

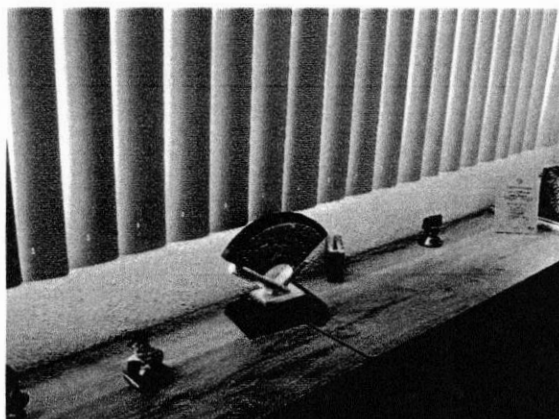
ドロレス校長先生のお嬢さん三人はブエナ・ティエラ小学校の先生で

ISSE1999 インドカンファレンス、2004 メキシコカンファレンス、そして昨年の2006 マレーシアカンファレンスまでこれまでに三回ご一緒させてもらっているのも他人とは思えない笑顔がとても素敵な先生方です。会うのは 4 度目でその都度、私に交流を要請し、やっと来年常滑東小学校との交流が実現しそうで、これまで言われてきたタイソウ！プロ

ミス！をやっと果たすことが出来そうなので TSIE 会長としては本当にほっとしています。

本日最後の訪問校は 4 年前西浦北小学校が治安や交流時期、そしてメキシコへの行程の長さなどの問題から受入れに限るという相手にとっては随分失礼な理由から受入れ事業のみを行ったセンカ小学校の訪問です。センカ小学校に着いたのは午後の授業が終了して保護者が迎えに来ている時間と重なり、そのセキュリティのすごさに圧倒されました。学校内へは ID カードで入り、学校の敷地は頑丈な塀やフェンスで囲まれ、児童は全員保護者の車で送迎をしてもらっています。日本では通学団で歩いて並んで通学すると説明すると、先生は目を丸くしてリアリィ！と驚きます。

校長室には 4 年前西浦北小学校から引率のマリア先生がお土産として持ち帰った扇形の置物が飾られ、前述した理由や勉強不足からの理由で派遣が出来なかったことが恥ずかし



い思いでした。6 年生のクラス訪問では、アルハンドラさんという可愛い女の子から「森本ファミリーをご存知ですか」との質問があり、彼女は、4 年前に西北小の森本さんがホストした男子児童の妹であったことは、なにかセンカ小学校と TSIE の縁を感じさせる不思議な思いがこみ上げてきました。

今日訪問したトルーカの小学校は全てがすばらしい学校で TSIE の交流相手として障害は何もないことを確認しました。あとは、われわれ自身と学校の体制だと思います。私の大好きな JAZZ バラード、マイルス・ディビスの It never entered my mind のように片思いではなくお互いが分かち合い、理解することこそ国際交流だと思います。

メキシコシティに帰った私たちは TAE（トーマス・アルバ・エジソン）小学校のカルロ



ス先生と下町のタコス有名店でコロナビールとタコスの少し遅めのディナーでメキシコの夕べを満喫しました。口の卑しい私にとって今日は昼も夜も大好きなタコス三昧で満足な一日でした。

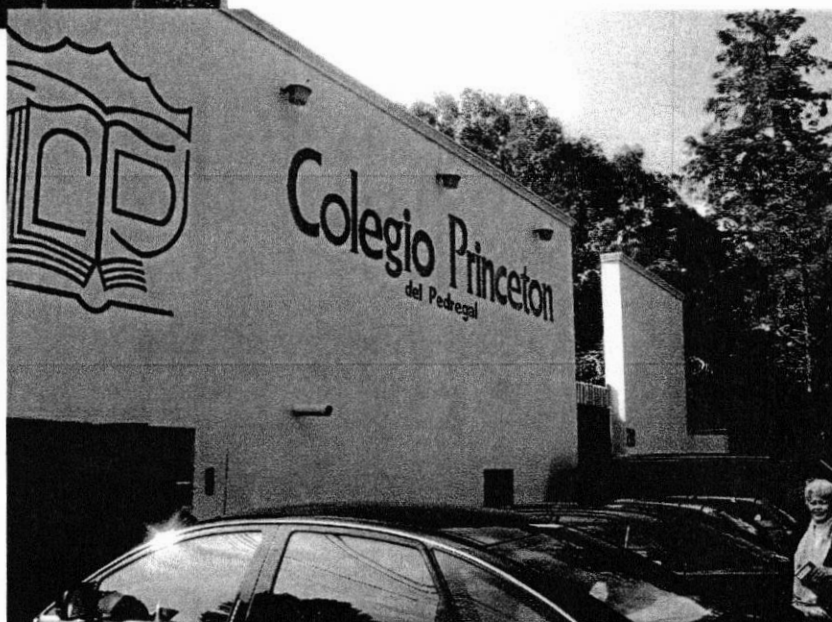
9 月 5 日（水）は、メキシコシティの中央から南にかけてのちょっと高級な地域の学校訪

問です。昨日同様午前 8 時にホテルを出発しました。メキシコシティには大きな通りが三つあります。レフォルマ大通りとインスルヘンテス大通りとチャブルテベック大通りです。名古屋で言えば、桜通り、錦通り、広小路通りといったところでしょう。この三つの大通りに囲まれた繁華街はソナ・ロッサと呼ばれ東京の銀座あるいは、ニューヨークの五番街のような高級ブランドや高級レストランがひしめく地域です。我々は、ホテルを出てインスルヘンテス大通りを南下して TAE 小学校に向かいます。メキシコでは大通りから一本中に入った小さな通りでは車のスピード防止のため、まるで大蛇が横断しているように 20 cm 位の高さで道路が盛り上がっています。こうしたスピード防止の方法は国によって工夫がなされスウェーデンでは、信号機の高さが低いため遠くから赤信号か青信号が分かりません。交差点にゆっくり近づいて行くと分かります。常滑市でも新しい市長さんには、交通安全を通じた街づくりとしてこのようなインフラ整備に真摯に取り組んで頂きたいと思います。話が少しそれましたが、TAE 校まで迎えに来ていただいたプリンストン小学校のブラチナプロンドがまぶしいガブリエラ先生と近所のレストランでアメリカンスタイル



の簡単なブレイクファーストを短時間で済ませ学校に向かいました。ガブリエラ先生も 4 年前の ISSE メキシコカンファレンスで一緒だったので私を覚えていてくれたようです。プリンストン小学校はサン・アンヘルやコヨアカンといった歴史地区にあり、あのフリーダ・カーロ博物館に隣接した高級住宅地を望む立地で品のよ

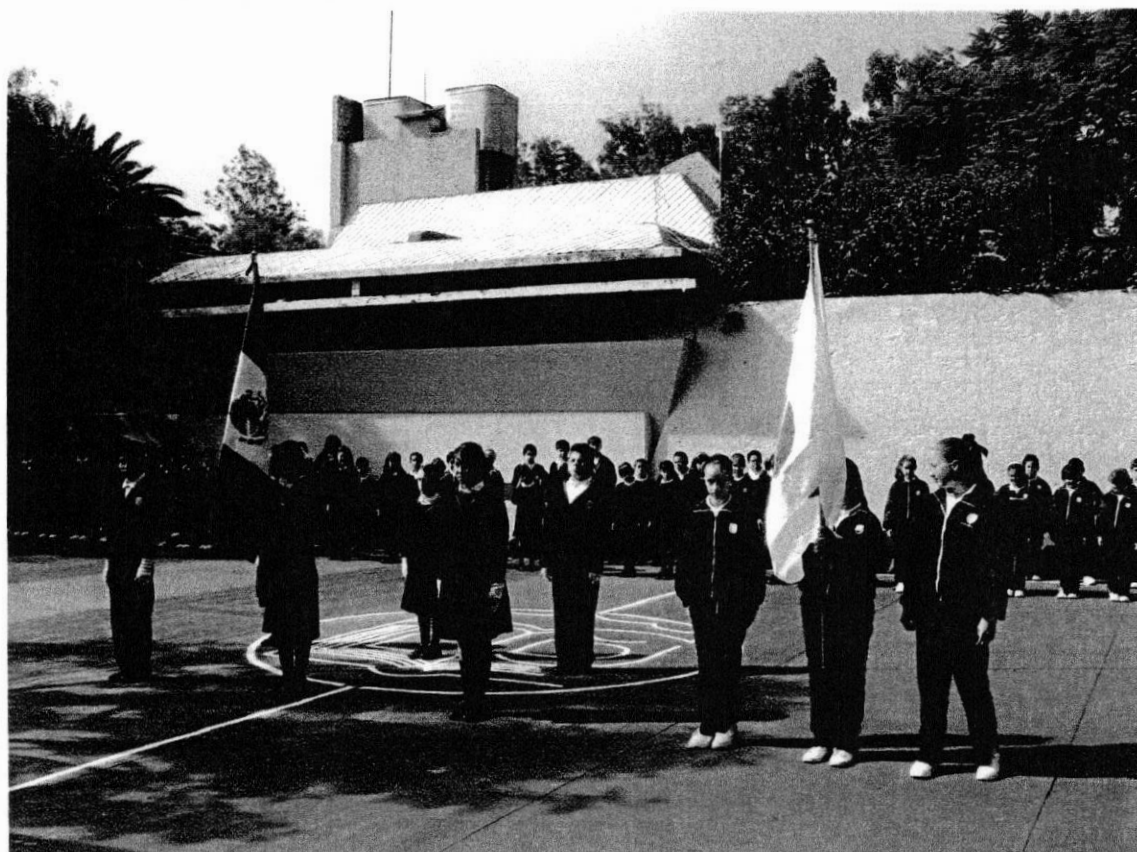
いファサードを持った学校でした。いい忘れましたが、メキシコシティは 15 年くらい前の大地震で街中の古いオフィスビルがかなりの数崩壊し、その跡地を全てポケットパークとする都市計画をしたため街中に緑があふれています。映画などで私たちがイメー



ジするアメリカ国境に近い景色の砂漠とサボテンの大地はどこにも見えません。街のあちこちにはピンクのブーゲンビリアや薄紫のジャカラランダが咲き乱れ、我々の身の丈以上の

メキシコが原産のポインセチアの緑が痛いくらい目に眩しい。あらゆる場所で日本の四季を感じ自然と共生してきた私たちにとっては、最近こうした自然を残す街づくりを忘れ開発による砂漠化を当たり前のように考え、気にしなくなったのは大変危険なことだと思います。このままでは、近い将来、日本が砂漠とサボテンの国になるのではないのでしょうか。

プリンストン小学校では、全校児童が歓迎セレモニーのため、私たちが今か今かと待っていてくれたようです。国旗入場・国旗掲揚及び国歌斉唱で驚いたのは、メキシコ国旗だ



けでなく日章旗も入場・日章旗掲揚及び君が代まで流してくれたことです。ガブリエラ先生が日本大使館にお願いして借りてきてくれたそうです。彼らが私たちとの交流をどんなに心待ちしているか理解できます。小学校から高級住宅街を車でほどなく行くとプリンストン学園の幼稚園に到着します。さすがにハイレベルな緑あふれる幼稚園です。その後今度は、メキシコ国立自治大学の近くにあるプリンストン高校へも案内してくれました。日本で言えば学園都市内といった閑静な本当に環境が整えられた一帯です。ガブリエラ先生は私たちとの将来の交流に役立てばと言うことで自分の学園の全てを紹介してくれました。午前中のプリンストン学園の訪問はメキシコ版セレブを十分に堪能させていただきました。それにしてもこの緑の多さは何と素晴らしいのでしょうか。午後はTAE小学校に帰り、カルロス先生の案内で学校近くの日本食レストランでランチです。まさかメキシコで鉄火巻を食べるとは！！父親が生きていたらサプライズどころか怒り出すかもしれません。ランチ後、TAE校で中学生のメキシコ紹介のプレゼンテーションがありました。女生徒によ

るプレゼンテーションはメキシコの歴史、文化そして政治経済にまで及び内容の濃いもので、彼女たちの国を愛する姿勢を聞いていて美しく感じました。その後、中学生のクラス

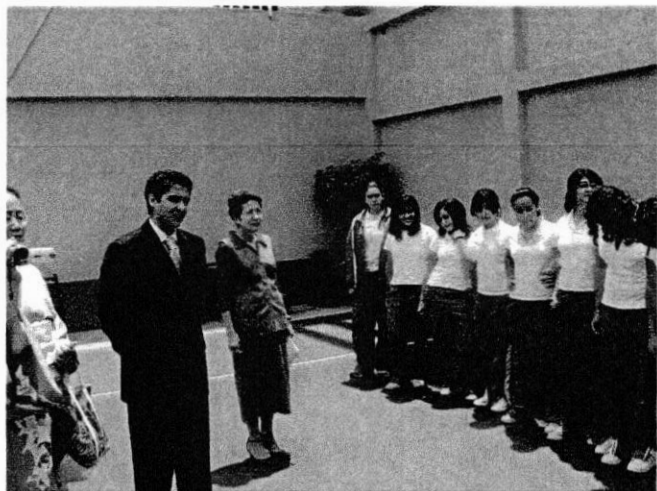


訪問をTAE校理事長婦人と一緒にさせていただきました。TAE校は日本で言う受験校で毀誉褒貶を世間に撒き散らしているような気がします。クラス訪問する度に理事長は気合の入ったスピーチを生徒に聞かせ彼らのやる気を起こさせているようでいつも劣等性だった私は彼らが哀れと思えるほどでした。あるクラスでは、メキシコの数学の大会でグランプリを獲得した男子生徒を紹介していただきましたが、これが青白い顔の度の強いメガネをかけた典型的な秀才タイプの生徒で愛想の良くないもやしのようなある意味では気の毒な生徒だったと思います。ただ、そんな児童生徒ばかりではありません。今朝、プリンストン小学校へ行く前にTAE小学校では全校児童がホールに集まり私たちに歓迎のセレモニーをしてくれましたが、みんな元気一杯でした。特に、来週からの三和小への派遣団の児童は笑顔がとても素敵で元気な児童たちでした。そんな中、今回の下見で最も興奮した再会がありました。それは、4年前のメキシコカンファレンスで私と田村由紀さんの世話を頂いたアルハンドラ先生と



再会できたことです。彼女は私（福田）のセカンドマザー（グランドマザーと言ったら怒られました）と称してお互い言葉が分からないのに冗談を言い合いそれが何故か理解できるほんとうに素晴らしい先生です。カンファレンスの時は、最終日に体調を悪くされお別れの挨拶が出来なかったのですが、お別れをしていないので再会出来たのかも知れません。国際交流を続けていて本当に良かった

と思います。この後、我々は朝からの疲れもお構いなく高校へも案内されました。高校では階段を上ったり降りたり標高差による酸欠で都築さんは頭痛で私は息切れを起こす始末でした。常滑からの派遣団には標高差については注意が必要だと思います。言い忘れていましたが、都築さんは朝から着物でフォーマルウェアです。都築さんは大変な才女で今日の着物は自分でデザインした柄を





なっています。講堂では児童会長の立候補立会演説会も行われていて児童の自主性を感じました。オリンカ小学校の校長先生は自慢の親日家で、これまで4度来日したそうです。京都でのお茶会の話や日本文化の素晴らしさを楽しそうに語ってくれました。オリンカ小学校で案内してくれた先生もメキシコカンファレンスのメンバーで私のことを覚えていてくれました。

最後にメキシコシティをさらに南下した下町に位置するアメジャリ小学校を訪問しました。都築さんは私の通訳をずっと続けその標高の高さから酸欠で頭痛が激しくなり少し休憩です。ここでも4年前のカンファレンスと一緒にいた先生が学内を案内してくれました。

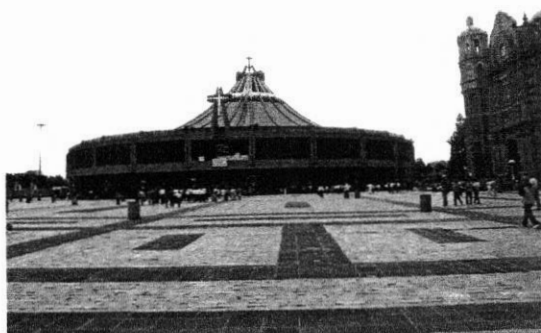
児童は皆、親しみのある可愛い笑顔でクラスルームに迎え入れてくれ、日本語のわかる子は「こんにちは」と声をかけてくれました。先生とご一緒した緑一杯のレ



ストランでは、近所のマダムが食事とおしゃべりで生き生きとしていた姿はまるで日本のお母さんを彷彿させて面白い体験でした。このような光景を眺めていると、メキシカン血液型に例えるならば間違いなくO型だと思います。陽気で誰とでも話をあわせるラテン系の特徴を見事に現しています。予断ですが、これまで12年国際交流に携わってきて私が常日頃交流相手国などを血液型に例えて思っていたことを紹介します。先ず、オーストラリアです。オーストラリアはおおらかですが結構我が強いのでOに近いB型だと思います。次にアメリカです。アメリカはISSEカンファレンスに出席すると分かると思いますが国際会議などでは自分たちが主導権を握らないと気がすまない性格です。間違いなくB型です。それに比べてアジアの国はどうでしょう。

マレーシアやタイはあまりスケジュールなどにセコセコしません。O型だと思います。インドは自分のことしか眼中にないと言ったB型にあてはまります。では日本はどうでしょう。間違いなくこの几帳面さはA型です。イギリスやドイツもA型だと思います。話がそれましたが、今回のメキシコ視察訪問では予め連絡をしておいた訪問予定小学校のクチ

コミで遥々日本から視察に来るなら私たちの小学校も来て欲しいとの要望があり事前の予定を上回る7つの小学校を訪問し、それぞれの学校で大歓迎を受けました。訪問した全ての学校との交流を妨げるものは何もなく、あとは私たち TSIE が時間をかけてメキシコの勉強をすれば素晴らしい交流が出来ると確信しました。今回は自分の仕事の関係で、駆け足でのメキシコ小学校視察訪問であったため市内観光は犠牲にしました。5年前のメキシコカンファレンスの時に散策したメキシコシティの中心部でありコロニアル建築が並ぶソカロやアステカ遺跡のロマンが漂うテンプロ・マヨール、広大な自然の散策が楽しめるチャプルテペック公園、国立人類博物館やフリーダの日常生活を身近に感じるフリーダ・カーロ博物館、カリージョ・ヒル美術館、褐色のマリア伝説に心打たれるグアダルーペ教会、メトロポリタン大聖堂そしてあの構造美を追求した建築家フェリックス・キャンデラの手



による HP シェルが美しいミラグロサ教会やサンタ・モニカ教会、巨匠ミースのユニバーサルスペースが心地よいバカルディの工場



やコロニアル建築の要素と土着性が見事に融合した現代世界で注目の建築家ルイス・バラガンの住宅建築群、更に足をメキシコシティから北東に少し伸ばして(バスで2時間程度)世界遺産のテオティワカンの階段状のピラミッドなど魅カー杯の見所あふれるメキシコは近い将来の再訪のため大切に保管しておきた

いと思います。長旅から帰ってきたらあまりに変わり果てた自分の街を夢幻の世界であってほしいと願ったツアラツウストラの気持ちを忘れないで……。TSIE 派遣団の訪問までメキシコを愛し続けることを約束して……。

ヴィヴァ・メヒコ！！

